

八丈島 水産だより



11月号
2019年



24時間チャレンジ八丈太鼓



ストレッチアと八丈富士

度重なる台風もようやく落ち着き、秋雨の合間に見せるさわやかな晴れ空が気持ち良い季節になりました。大賀郷園地では八丈町の花であるストレッチアがまっすぐ背筋を伸ばしてきれいに咲いています。10月26日から27日にかけては、底土船客待合所にて24時間太鼓をたたき続ける『24時間チャレンジ八丈太鼓』が開催されました。イベントは今年で10回目を迎え、会場には素敵な応援メッセージの寄書が飾られていました。

■ 最近の漁模様 ～台風と漁業～

10月は台風が多く出漁日が少なかったため、水揚げも少なくなりました。八丈島近海は小笠原諸島や沖縄にあるはるか遠くの台風や、台風が通過した後にも影響を受けるため、天気は良いけれど海は時化している（荒れている）という状況も少なくありません。漁業者は、出漁できないときには仕掛けを作ったり、船をメンテナンスするなどして次の出漁日に備えます。

台風が通過 → した翌日。天気は回復しても海は大荒れ。



← 漁船は台風が来る前にロープで固定します。

■ 魚の『旬』について



← 八丈島で多く漁獲される2～5月ごろのカツオは走りの時期の『初カツオ』として重宝されます。

ムロアジは漁期が始まる8月ごろが走りの旬です。冬になるにつれて体が大きくなり、脂ものるため、盛りの旬になります。



『旬』とはその食べ物を美味しく食べられる季節のことです。水産物では産卵や回遊などの生態と深く関係しており、産卵のために餌をたくさん食べ、エネルギーを蓄えて身に脂がのった季節（盛りの旬）や、漁場に回遊（移動）してきて初物として漁獲される季節（走りの旬）が旬とされることが多いです。旬は美味しく魚を食べるテクニックです。ぜひ他の旬の食べ物と合わせて季節を感じる食卓を作ってみましょう。